

■ 会社概要 (2019年6月30日現在)

会社名 株式会社 オプトラン  
(OPTORUN Co.,Ltd.)  
住所 [東京オフィス(本社)]  
東京都豊島区西池袋1-11-1  
メトロポリタンプラザビル11階  
[川越技術センター]  
埼玉県川越市竹野10-1  
設立 1999年8月25日  
資本金 400百万円  
事業内容 光学薄膜装置等の製造販売

■ 役員 (2019年6月30日現在)

取締役

取締役会長 孫 大雄  
代表取締役社長 林 為平  
取締役 高橋 俊典  
取締役 範 寶  
取締役 林 敏※  
取締役 樋口 武※  
取締役 山崎 直子※

執行役員

社長執行役員 林 為平  
専務執行役員 高橋 俊典  
専務執行役員 範 寶  
執行役員 奚 建政

監査役

常勤監査役 小林 信一  
監査役 清野 英夫※  
監査役 齋 建初※

※は社外

■ 主なグループ会社



株式会社オプトラン  
[東京オフィス(本社)]  
東京都豊島区西池袋1-11-1  
メトロポリタンプラザビル11階  
TEL: 03-6635-9487  
FAX: 03-6635-9497

[川越技術センター]  
埼玉県川越市竹野10-1  
TEL: 049-239-3381  
FAX: 049-239-3394



第21期 株主通信

第2四半期

2019年1月1日から  
2019年6月30日まで



IoT時代を切り拓く

株式会社オプトラン

証券コード: 6235

## 会長・社長メッセージ



取締役会長

孫 大雄

### 創業20周年を迎えて

当社は2019年8月25日で創立20周年を迎えました。創立以来お世話になった関係者の方々に深く感謝するとともに、株主の皆様及び役員にも改めて敬意を表します。

当社は1999年8月25日に創立しました。その後、現在の川越工場で光通信向けフィルタ成膜装置の開発、設計、製造に注力しました。半年後には、日本初、世界トップレベルの100GHzDWDMフィルタ成膜に成功しました。夢のような時間で、今でも目に浮かびます。その数日後には、社員一同が感激の涙をぬぐいながら、装置の出荷を見送りました。社名「オプトラン」の名にふさわしい「光の速さ」なみの開発スピードと言ってもよいでしょう。以来当社は、「できない理由よりできる工夫を」をモットーに、着実に競争力の高い成膜装置を開発してきました。光学薄膜成膜業界にオプトランというブランド名が浸透し、技術力で世界を変えたいという創業時の夢が少しずつ実現してきたと感じています。

2017年に東京証券取引所第一部に直接上場を果たし、一層の成長環境が整いました。今後とも高品質な製品を供給し続け、新たな事業基盤を築き、事業のグローバル化を進め、市場やお客様のニーズに応じていきます。創立時のベンチャー精神を忘れず、さらなる事業発展に注力していく所存です。今後ともより一層のご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

### 次なる成長へ向けて

創業20周年を迎えるにあたり、関係者の皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。会社の規模としては発展途上の若い会社であり、さらなるご厚情とご指導をお願い申し上げます。

1999年設立のオプトランは光学薄膜装置メーカーとして、デジタル技術の発展に貢献することを標榜し、高い技術開発力を武器に世界市場をリードするまでに成長をとげました。

現在、当社を取り巻く環境は、多様化のスピードを速め、主力の市場であるスマートフォンでは、5G対応や通信システム革新等を背景に装置需要の拡大が期待されます。IoT分野では車載関連、半導体光学融合、生体認証など、その他に監視カメラ、AI、LEDなども同様です。われわれはこうした変革の時代をチャンスととらえ、常に時代の先を読み、これまでになかった革新的な製品を世界に提案し続けます。事業基盤をさらに強化し、スピード感を持って開発・生産・販売・サービスに努めてまいります。

グローバルな装置市場の需要を確実に取り込むため、当社はグローバルな事業展開をさらに推進していきます。特に、すでに弊社にとり主要市場である中国、台湾に加え、インド、東南アジアといった地域が成長戦略の要と考えています。

今後とも創立当初の自由闊達な社風を失うことなく、薄膜成膜領域で世界一の企業を目指す所存です。株主の皆様には、引き続き当社の経営にご期待いただきますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

林 為平

## 成長へのビジョン

# 薄膜成膜分野において世界市場をリードし続ける

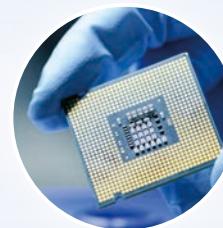
### 1 光学薄膜装置事業

引き続き世界市場をリードする研究開発型企業としての地位を確固たるものとする

技術開発の加速: 日本・上海・台湾・フィンランドでの横断的技術開発

光学薄膜技術+新技術の導入: ALD、エッチング等の新技術を装置に反映

更なる応用分野の拡大



半導体



自動運転



AI



5G

### 2 中長期的な取り組み

研究・開発: IoT、AI等のスマート社会向けに薄膜成膜技術を高度化

M&A: 光学薄膜技術と補完関係や、開発・生産・販売面でのシナジー効果が期待できる企業へのM&Aを検討

投資: 技術や営業シナジー・生産能力確保となる企業への投資を拡大

# 特集：当社のあゆみ

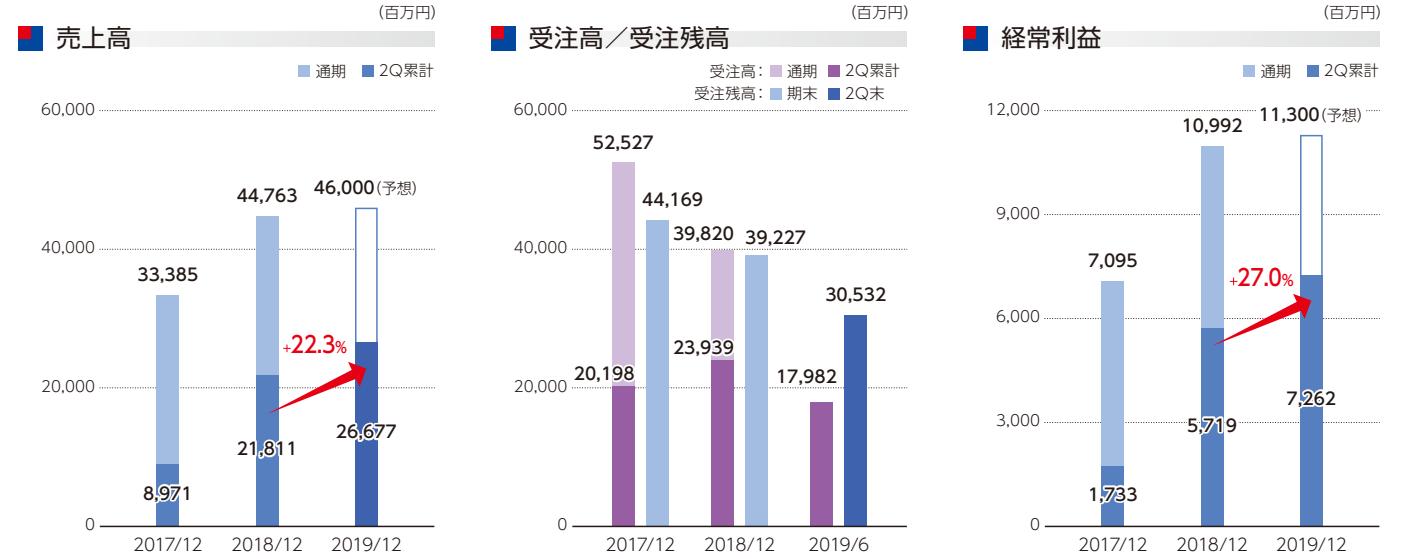
お客様のニーズに応えながら、様々な光学成膜装置を製造・販売。  
光学製品の新たな可能性にチャレンジしてまいりました。

<p><b>1999.08</b> 当社設立</p> <p><b>1999.09</b> 埼玉県川越市に移転</p> <p><b>2000.03</b> 当社第1号機の完成</p> <p><b>2000.12</b> 成膜装置部品製造販売を目的に光馳科技(上海)有限公司を設立</p> <p><b>2001.04</b> 生産能力拡張を目的に本社工場に第2工場新設</p>	<p><b>2004.10</b> 光馳科技(上海)有限公司新工場が上海市宝山区で竣工し移転</p> <p><b>2007.08</b> 光学薄膜装置の生産を本社工場から光馳科技(上海)有限公司に順次移管</p>  <p>光馳科技(上海)有限公司</p>	<p><b>2013.01</b> 中国国内営業取引の拡充を目的に光馳(上海)商貿有限公司を設立</p> <p><b>2013.09</b> 光馳科技股份有限公司(台湾)を設立</p> <p><b>2014.08</b> 販売体制の拡充を目的にOptorun USA, INC.を設立</p>	<p><b>2017.02</b> 光馳科技股份有限公司(台湾)が台湾苗栗県に新工場を取得</p> <p><b>2017.12</b> 東京証券取引所市場第一部に上場</p>  <p>東京証券取引所市場第一部上場</p> <p><b>2018.11</b> 東京都豊島区池袋に東京オフィスを開設</p>
--	--	--	--



<p><b>2000.03</b> 光通信用多層膜フィルタ成膜装置(NBPF)開発成功</p>  <p>NBPF</p>	<p><b>2006.05</b> 汎用型光学薄膜形成装置Generシリーズ生産開始</p>  <p>Gener-1300</p>	<p><b>2010.12</b> 防汚膜成膜装置Gener-2350 生産開始</p>  <p>Gener-2350</p>	<p><b>2014.09</b> 光学膜用スパッタ成膜装置NSC-15 販売開始</p>  <p>NSC-15</p>	<p><b>2018.11</b> 半導体光学膜用スパッタ成膜装置OWLS-1800 販売開始</p>  <p>OWLS-1800</p>
<p><b>2001.01</b> IAD 光学薄膜形成装置OTFCシリーズ生産開始</p>  <p>OTFC-1300</p>	<p><b>2009.10</b> 光学膜用スパッタ成膜装置HSP-1650 販売開始</p>	<p><b>2011.09</b> 反応性プラズマ成膜装置RPD シリーズ販売開始</p>	<p><b>2017.03</b> 光学膜用スパッタ成膜装置NSC-2350 販売開始</p>	

# 連結財務ハイライト



# 要約連結財務諸表

	2018/12	2019/6
<b>資産の部</b>		
流動資産	48,142	47,957
固定資産	7,501	7,840
有形固定資産	2,843	2,717
無形固定資産	65	52
投資その他の資産	4,593	5,070
資産合計	55,644	55,798
<b>負債の部</b>		
流動負債	25,922	22,687
固定負債	1,658	1,611
負債合計	27,581	24,298
<b>純資産の部</b>		
株主資本	28,385	32,338
資本金	400	400
資本剰余金	9,193	9,396
利益剰余金	18,980	22,694
自己株式	△ 188	△ 152
その他の包括利益累計額	△ 333	△ 838
非支配株主持分	10	-
純資産合計	28,062	31,499
負債純資産合計	55,644	55,798

	2018/6	2019/6
売上高	21,811	26,677
売上原価	12,825	15,712
売上総利益	8,985	10,965
販売費及び一般管理費	3,559	3,568
営業利益	5,425	7,396
営業外収益	376	91
営業外費用	82	224
経常利益	5,719	7,262
特別利益	-	355
税金等調整前四半期純利益	5,719	7,617
法人税等	1,747	1,623
四半期純利益	3,972	5,994
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 0	△ 0
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,972	5,994

	2018/6	2019/6
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,304	14,232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 926	△ 1,079
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,413	△ 2,389
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 226	△ 414
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 8,871	10,348
現金及び現金同等物の期首残高	19,893	15,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,022	26,089

# 株式情報

(2019年6月30日現在)

発行可能株式総数	177,432,000株
発行済株式総数	44,358,000株
株主数	10,683名

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
浙江水晶光电科技股份有限公司	7,295	17.35
株式会社アルバック	4,038	9.60
孫 大雄	2,555	6.08
JSR株式会社	2,310	5.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,847	4.39
理研電線株式会社	1,275	3.03
肖 連豊	978	2.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	971	2.31
株式会社オハラ	750	1.78
林 為平	682	1.62

(注) 1. 当社は、自己株式を2,314千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

